

母の日の名脇役。

< 植物名 >

カーネーション

ワセイ

花かんざし

水やり

土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。

置き場所

梅雨の間は雨をよけられる軒下に、冬は室内の明るい窓辺に置く。

用土肥料

多肥を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿し木、株分け、タネまき

冬越し

冬は室内の明るい窓辺に置く。

使い方 鉢植え、切花

学名 Dianthus

英名

属名 ナデシコ

科名 ナデシコ

性状(分類) 半耐寒性多年草

原産地 地中海沿岸

花の色 赤

開花期 7～8月

購入時期

草丈 30～100 cm

ID 430

季節 夏

JFコード 38731



冬越しと置き場所

夏の過湿を嫌うため、梅雨の間は雨をよけられる軒下に、冬は室内の明るい窓辺に置く。冷涼な温度を好み、成育適温は15～20 くらい。

その他の解説

多肥を好む。ミニカーネーションで、中大輪の花が咲く。

特徴1

母の日の花としておなじみ。花かんざしは、ミニカーネーションで、中大輪の花を咲かせる種である。土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。

特徴2

ほのかな芳香のある花は、古代ギリシャから栽培され、現代でも母の日の花としておなじみ。鉢植え用の矮性種のほかに、切花用の高性種もある。現在のカーネーションは交雑種で、その基礎になっているのは、D.caryophyllusであり、それにセキチクその他が交雑されて今日のカーネーションになった。その昔は、観賞用だけでなく香りや食用としても使われていた。